

【参考資料】令和2年度 環境基本計画 環境施策の評価一覧

「A」達成(十分な成果が得られた)
 「B」順調である(前年度に比べ、事業の実施成果が向上した)
 「C」概ね順調である(十分な成果とは言えないが、前年度に比べ事業実施の充実が認められる)
 「D」前年度と同水準が維持されている(十分な成果とは言えないが、前年度に比べ事業の実施水準が維持されている)
 「E」順調でない(事業が実施されなかった。もしくは前年度に比べ実施成果または実施内容が後退した)

基本目標	個別目標	施策方針	環境施策	担当課	計画期間全体の評価	令和2年度の取り組み状況	R2評価	過去の評価									
								R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	
1 緑豊かな山々と美しい水辺のある自然と親しみ自然と共生する	1 山々の緑と水を大切にす	1 森林の植生と生態系の保護	1 国・県と協力し、定期的な植生・生態系調査を実施し、森林の整備・保全を目的とし、かつ林業振興策にも配慮した総合的な対策の検討を行います。	農林水産課	皆伐跡地の未植栽地解消や植生状況の確認については、補助事業の検査時に行っているが、生態系調査までには至っていない。生態系調査については、専門的な知識が必要であることから、他所管の個別事業として行う必要がある。	林業事業体の森林経営計画策定を促し、適正に森林整備が促進されるよう取組んだ。	C	C	C	B	B	B	C	C	△	△	
			2 環境保全地域の指定地内における植生については、開発等の影響を受けないよう特に留意し、生態系の保護に努めます。	農林水産課	環境保全地域の指定地内における植生については、開発等の影響を受けないよう特に留意した。その結果適正に行われ、生態系の保護が図れた。	環境保全区域内(自然公園区域、保安林等)の工事、伐採については指定要件を遵守し、事業所への指導についても県と協力して行った。	A	A	A	A	A	A	B	○	△		
		2 山岳地及び里山の森林整備	1 村上市森林整備計画等に基づき、計画的かつ適正な森林整備(造林、保育、草刈り、雪起し、間伐等)を推進するとともに、市行造林地の適正な管理により、森林の持つ公益的機能の強化を図ります。	農林水産課	林業事業体による森林経営計画等の森林整備に関する計画の樹立面積が拡大し施業も進んでいる。また、市行造林地についても、間伐の実施により適正な管理が行われた。	林業事業体への森林経営計画策定に対する積極的支援により森林施業の促進を図った。	A	A	A	A	A	A	B	○	○		
			2 アドプト制度等を活用した森林ボランティアの検討を行うなど、地域ぐるみの里山の森林整備活動の強化を図ります。	農林水産課	朝日、村上、神林、荒川地区において、計52haの里山を整備しており、今後も継続し活動範囲を広げるよう推進する。	森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業により、山林所有者や地域の自発的な里山整備の支援を行った。	B	B	B	B	B	B	C	○	○		
			3 山地災害の未然防止対策と林業の健全な育成と併せて、森林の公益的機能が十分に発揮されるように、積極的な治山事業の導入を図ります。	農林水産課	必要性、緊急性の高い要望箇所について優先的に治山事業が行われ山地災害に対する対策が図られた。	実施要望に基づき、効果的に実施された。また、地震に伴う危険箇所を把握するためバトロールを実施した。	A	A	A	A	A	A	A	○	○		
			4 山岳地及び里山の開発に対しては、森林の生態系や景観などへの配慮について指導します。	農林水産課	開発区域においては残地森林が適正に確保されている。また、行為中の区域においては、災害や苦情の発生等がなかった。	林地開発許可申請に対する意見書の提出と開発区域のバトロールを実施した。	A	A	A	A	A	A	A	○	○		
	6 地域住民を対象とした勉強会や小中学校と連携した森林整備体験等を通じて、森林整備の重要性と方法についての啓発活動を推進します。	生涯学習課	巨木・老木の現況把握や文化財指定による保護は推進したが、学習の場として利用することはできなかった。	市指定文化財の巨木について、現況を把握するとともに所有者等の管理・保護の取り組みを支援し、保存に努めた。	B	B	B	A	A	A	A	A	○	○			
		農林水産課	啓発活動をさらに発展させ、学生中心に地域活動としての取り組みを強化された。	外郭団体主催の木工教室や森林体験学習会等に積極的に参加した。	A	A	A	A	A	A	A	A	○	△			
	7 漁業・林業関係者、地域住民、緑の少年団が中心となって行われてきた三面川の「さけの森林づくり」等、ボランティア森林整備の活動をさらに促進していきます。	農林水産課	H11年度から実施している事業であり、継続して活動が実施できた。	さけの森林づくり活動の準備を進めていたが、7月の豪雨災害に伴う、県道(朝日スーパーライン)土石被害により道路復旧の見通しがたらず中止となってしまった。	B	B	A	A	A	A	A	A	○	○			
		生涯学習課	さけの森林づくり活動や森林整備活動を継続して行う年間活動として計画している。	朝日線の少年団活動として計画した。									○	○			
	8 国・県と協力し、松くい虫被害に対する防除を実施し、森林の保全に努めます。	農林水産課	被害面積、材積ともに減少した。今後も予防事業と駆除事業を継続して実施していく必要がある。	・地上散布(村上地区)A=0.66ha ・有人ヘリ散布(山北・神林地区)A=48.83ha ・無人ヘリ散布(山北・神林・村上地区)A=23.29ha ・伐倒くん蒸 V=35.9m3 昨年度同様に被害区域の調査と駆除、防除作業を行い、被害量の抑制を図った。	A	A	C	A	C	C	C	C	△	○			
			9 森林資源の保護と森林の持つ公益的機能の周知を図るとともに、森林公園など、人と森林のふれあいの場の整備・活用を推進します。	農林水産課	市民ボランティアによるこの活動を継続推進していく	三面川左岸(通称種川)にて、イヨボヤの里開発公社主催の「種川クリーン活動」を実施しているがコロナ禍のため活動を休止。また随時職員で草刈りの実施。	C	C	C	B	B	B	B	○	△		

基本目標	個別目標	施策方針	環境施策	担当課	計画期間全体の評価	令和2年度の取り組み状況	R2評価	過去の評価									
								R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	
1 緑豊かな山々と美しい水辺のある自然と親しみ自然と共生する	2 川や湖沼の水辺と親しみ、これを大切ににする	1 水辺の生態系の保護	1 河畔や河床に生育する樹木を保護し、野生の動植物の生息・生育に適した水辺環境の整備を推進します。	農林水産課	H11年度から実施している事業であり、継続し活動を実施していく。	活動の一環としてさけの森林づくりの準備を進めていたが、7月の豪雨災害に伴う、県道(朝日スーパーライン)土石被害により道路復旧の見通しがたえず中止となっていました。	D	D	A	C	C	C	C	C	C	○	○
			2 漁業・林業関係者、地域住民、緑の少年団が中心となって行われてきた三面川の「さけの森林づくり」等、ボランティア森林整備の活動をさらに促進していきます。	農林水産課	H11年度から実施している事業であり、継続し活動を実施していく。	さけの森林づくり活動の準備を進めていたが、7月の豪雨災害に伴う、県道(朝日スーパーライン)土石被害により道路復旧の見通しがたえず中止となっていました。	A	A	A	A	A	A	A	A	○	○	
				生涯学習課	さけの森林づくり活動や森林整備活動を継続して行う年間活動として計画している。	朝日緑の少年団活動として計画した。									○	○	
				環境課	ボランティア清掃時のごみ袋の配布、集積されたごみの回収、処理を行い活動を促進した。	ボランティア清掃時のごみ袋の配布、集積されたごみの回収、処理を行った。									○	○	
				農林水産課	3 三面川河口の「魚つき保安林」を適正に保全していきます。	生育状況は順調であり継続的に保全管理していきます。	荒天時にはバトロールを実施した。	C	C	C	C	C	A	A	A	△	△
				農林水産課	2 親しみやすい水辺環境の整備	1 河川や海岸の整備にあたっては、安全性の確保のみならず、地下水の涵(かん)養、多様な生態系の保全、地域に特有な自然景観の再生・創出に配慮します。	農林水産課	H11年度から実施している事業であり、継続し活動を実施していく。	活動の一環としてさけの森林づくりの準備を進めていたが、7月の豪雨災害に伴う、県道(朝日スーパーライン)土石被害により道路復旧の見通しがたえず中止となっていました。	C	C	A	C	C	C	C	C
		観光課	毎年、海水浴場における水質検査を実施し、水質の保全を図ることができた。	海水浴場水質検査を実施(村上、山北)										△	△		
		農林水産課	2 国・県と協力し、市民が安全で快適に水辺に親しみ、水辺環境を理解できるような親水空間の整備を推進します。	未実施	未実施	E	E	C	C	C	C	C	B	○	○		
		農林水産課	3 水辺を活用した自然体験活動の充実を図ります。	子供たちを対象にした「種川水中生物探検隊」を毎年7月に開催し毎年大盛況であり、継続実施していく。	種川において「種川水中生物探検隊」を毎年7月に開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡散防止により活動中止とした	C	B	A	A	A	A	A	A	○	○		
		生涯学習課	朝日みどりの少年団活動で継続実施している。	朝日みどりの少年団活動で継続実施している。	朝日緑の少年団活動として計画した。									○	○		
	3 美しい海岸を大切ににする	1 海岸地形の保全	1 「笹川流れ」に代表される岩石海岸の美しい自然景観を保護するため、住宅、道路、観光施設の整備にあたっては、計画・設計において自然環境や地形の変更を最小限にとどめるように配慮します。	建設課	鶴泊地内におけるR345号の改良工事に際して、開削ではなくトンネルを採用することで自然景観に配慮した。	道路の整備事業がなかったため自然景観は損なわれなかった。	A	A	B	B	B	D	D	B	○	○	
			2 瀬波海岸に代表される砂浜海岸の美しい白砂青松の風景、自然景観の再生と保全を図るため、国・県と協力し、海岸浸食の防止に努めます。	建設課	国・県に対し継続的に要望を行った。県事業にて塩谷海岸の養浜工が実施され、自然景観の再生と保全が図られた。また、寒川及び柏尾では離岸堤の設置が進められている。	白砂青松促進期成同盟会などを通じて、国・県に対して海岸保全と侵食に対する要望を行った。	C	C	C	C	C	D	C	C	△	△	
3 国・県と協力し、河川による土砂堆積量を適正に維持することにより侵食の進んだ砂浜海岸の再生と復元について検討を行います。			建設課	国・県に対し継続的に要望を行った。荒川河口砂州の堆積土砂や岩船港の堆積土砂を養浜材として県事業にて塩谷海岸の養浜工が実施され、砂浜海岸の再生と復元が図られた。	岩船郡村上市土木振興会を通じて、砂浜の侵食対策として海岸整備事業の促進を国・県に要望した。	C	C	C	B	B	B	B	B	○	○		
2 海浜植物の保護		1 国・県と協力し、海岸線に対する松くい虫の防除に努めます。	農林水産課	被害面積、材積ともに減少した。今後も予防事業と駆除事業を継続して実施していく必要がある。	昨年度同様に被害区域の調査と駆除、防除作業を行い、被害量の抑制を図った。 地上散布(村上地区)A=9.80hA ・有人ヘリ散布(山北・神林地区)A=74.52hA ・無人ヘリ散布(山北・神林地区)A=36.13hA ・伐倒くん蒸 V=27.20m3	A	A	C	A	C	C	C	C	△	○		
		2 河口付近の抽水植物や海岸線に生育する海浜植物を保護するため、生育状況の定期的な調査を行います。	環境課	調査を行うことはできなかったが、市民団体等からの情報により、対策やバトロールを実施した。	調査は実施していないが、市民団体等からの情報提供等を基に各種対策やバトロールを実施した。	C	C	C	C	C	E	E	E	×	×		

基本目標	個別目標	施策方針	環境施策	担当課	計画期間全体の評価	令和2年度の取り組み状況	R2評価	過去の評価									
								R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	
1 緑豊かな山々と美しい水辺のある自然と親しみ自然と共生する	3 美しい海岸を大切にす	2 海浜植物の保護	3 海岸部において新たに開発を行う場合には、生育地を避けるなど配慮するとともに、市民、事業者、団体等と行政との連携を密にし、情報を共有します。	農林水産課	関係機関と連携しながら、情報交換することができた。	風力発電計画、三面川改修計画における各会議の情報共有を積極的に収集している。	C	C	E	E	E	E	E	E	×	×	
			4 既存の生育地に対しては、保護地区を設定するなどの復元対策を検討します。	環境課	保護地区を設置することはできなかったが、保護柵を設置し、対策を行った。	H28年度設置の保護柵が現存しており、水準は維持されている。	D	D	D	B	B	E	E	×	×		
		4 野生の動植物を保護し、生息・生育環境を大切にす	1 貴重な野生動植物の保護	1 保護すべき貴重な野生動植物の生物種及び生息・生育地については、本市独自の基準や指定を検討するなど、絶滅が危惧される野生動植物の保護に努めます。	生涯学習課	特別天然記念物であるカモシカについては、自力で自然に戻す等の保護に努めた。	市民からの通報等をもとにカモシカの生息状況を随時確認し、保護に努めた。	C	C	C	C	C	C	D	△	△	
			2 生物多様性の確保	1 開発や造成による生息・生育地の減少、環境悪化などの影響が回避あるいは低減されるように、開発事業者への監視及び指導を強化します。	農林水産課	開発区域においては残地森林が適正に確保されている。また、行為中の区域においては、災害や苦情の発生等がなかった。	林地開発許可申請に対する意見書の提出と、残置森林等の管理に関する協定の締結を行った。	C	C	C	C	C	D	D	A	○	○
	3 人と野生の動植物との共生	2 国・県と協力し、野生動植物の違法な駆除・捕獲・売買、山野草の乱獲、海浜植物の踏み荒らしや外来種の移入など、生態系に影響を及ぼす行為を排除し、生物多様性の確保に努めます。	2 国・県と協力し、野生動植物の違法な駆除・捕獲・売買、山野草の乱獲、海浜植物の踏み荒らしや外来種の移入など、生態系に影響を及ぼす行為を排除し、生物多様性の確保に努めます。	環境課	県及び市民団体と情報共有を行った。	県及び市民団体と情報共有を行った。	C	C	C	C	C	E	E	E	×	×	
			3 野生動植物及びその生息・生育環境の保護等を通じて生物多様性の保護に貢献している市民団体、NPOの活動状況などを広報やホームページで紹介するなど、支援を行います。	環境課	HPや市報の掲載は行っていないが、例年環境フェスタ開催等により、各種団体の活動発表の場の提供を行い支援していたが、台風やコロナ禍により、期間の後半は実施できなかった。	HPや市報の掲載は行っていないが、例年環境フェスタ開催等により、各種団体の活動発表の場の提供を行い支援していたが、R2年度は、コロナ禍により開催できなかった。	D	D	C	C	C	E	E	×	×		
		1 村上市都市計画マスタープランに基づいて本市の都市計画を実行するに際して、「水とみどりの整備方針」にうたわれた自然環境の公益的機能の保全とともに、野生の動植物との共生にも配慮します。	農林水産課	自然環境に配慮した各種事業を行うことができた。	森林整備事業への積極的支援と治山事業の推進による保安林の適正管理を行い、森林の公益的機能の維持保全に努め、森林公園等の維持管理を推進した。	B	B	B	B	B	B	B	B	○	○		
		2 里山や農地で見られる野生の動植物の生息・生育環境の保全・再生・創出を図るため、自然環境に配慮した農・林道・かんがい排水等の整備を推進します。	農林水産課	資源維持には大切な対策であるため継続実施する。	禁漁区・禁漁日の設定。低・未利用魚を採らないよう、網目の大きい漁具を使用。	C	C	C	E	E	E	E	E	×	×		
		3 海面漁業に関して、魚類の個体数・種数の確保と漁獲物の付加価値の向上を目的として、生産量及び漁獲量の自主的な制限などの資源管理型漁業の取り組みを推進します。	農林水産課	安定的に漁獲を維持する為には必要な事業であり継続実施する	海面漁協で漁業資源を保護するため稚魚放流を実施。市で事業費補助。(事業費の1/3以内)	C	C	C	C	C	C	C	C	○	○		
		4 “つくり育てる漁業”を目指して、栽培漁業や海面養殖業の検討を行います。	農林水産課	該当事業がなく、実施しなかった。	未実施	E	E	C	C	C	C	C	C	○	○		
		4 外来種及び鳥獣被害対策の推進	1 湖沼等におけるブラックバス類(オクチバス、コクチバス)とブルーギル等の魚類の生息状況を把握するとともに、生息が確認された場合には、駆除に関して検討を行います。	環境課	未実施	未実施	E	E	D	D	E	E	E	E	×	×	
			2 セイタカアワダチソウ等の外来植物が大量に生育する河川敷や道路脇では、国・県と協力して、刈り取りや抜根などの対策を講じます。	農林水産課	該当事業がなく、実施しなかった。	農道路肩、水路敷の除草に関しては、各地区農家組合活動、多面的機能支払交付金による活動、地先農業者により実施されている。農地被害面から目立った苦情が上がっていないためセイタカアワダチソウ等の外来種駆除に特化した対応はとっていない。	D	D	E	E	E	E	E	E	×	×	
			3 新たな外来植物の大量発生を防止するため、耕作放棄地の解消に向けた農業生産基盤の整備を推進します。	農林水産課	国の施策の活用により農地の保全が図られた。	日本型直接支払交付金の3事業を積極的に推進し、事業効果を発揮している。	B	B	B	B	B	B	D	○	○		
			4 ニホンザル、ハクビシン、ツキノワグマによる農作物への被害を防止するため、村上市鳥獣被害防止計画に基づいて、捕獲(駆除)や有害鳥獣を誘引しにくい集落の整備等に努めます。	農林水産課	電気柵の整備、集落環境診断、有害鳥獣駆除を合わせて行うことで、農作物被害の低減が図られた。	有害鳥獣の捕獲(駆除)電気柵の設置。集落環境診断・集落説明会の実施	B	B	B	B	B	B	B	○	○		
	5 農村の自然環境を大切にす	1 自然豊かな農地の保全	1 村上市農村環境計画に基づいて、農地及び農村における環境保全を推進します。	農林水産課	国の施策の活用により農地・農村環境保全推進が図られた。	多面的機能支払交付金、人・農地プラン等の国の施策の積極的な推進。	A	A	A	A	A	B	C	D	○	○	
			2 害虫の発生を防止し、快適で豊かな農村環境を保全するため、耕作放棄地の拡大防止、保水能力の向上など、農地の持つ環境保全機能の確保に向けた農業生産基盤の整備を推進します。	農林水産課	国の施策の活用により農地の保全が図られた。	日本型直接支払交付金の3事業を積極的に推進し、事業効果を発揮している。	B	B	B	B	B	B	D	○	○		
			3 耕作放棄地の拡大防止を目的とし、農家の担い手不足の解消と農業生産力の向上を視野に入れ、事業者等による農業への参入や農業法人の設立等を促進します。	農林水産課	国の施策の活用により農地の保全が図られた。	日本型直接支払交付金の3事業を積極的に推進し、事業効果を発揮している。	B	D	D	D	D	D	D	○	△		

基本目標	個別目標	施策方針	環境施策	担当課	計画期間全体の評価	令和2年度の取り組み状況	R2評価	過去の評価									
								R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	
1 緑豊かな山々と美しい水辺のある自然と親しみ自然と共生する	5 農村の自然環境を大切にす	1 自然豊かな農地の保全	4 農村公園や農村環境改善施設の整備などにより、農村環境の保全に努めます。	農林水産課	施設の適正な維持管理により農村環境の保全が図られた。	既存施設の適正管理を実施し、利用の促進が図られた。	C	C	A	A	A	A	A	A	A	O	O
			2 環境に配慮した農業の推進	1 農業関係団体と協力し、農薬や化学肥料の使用を抑えた環境に配慮した農業の支援・指導を実施します。	農林水産課	環境保全型農業直接支援交付金事業の推進を継続実施する。	環境保全型農業直接支援交付金事業を周知すると共に事業実施に対して支援。	D	C	C	C	C	D	B	O	O	
			2 食の安全・安心とこれにつながる農産物のブランド化を目指して、農産物の高付加価値化や地産地消の取り組みを推進します。	農林水産課	地産地消や市内外へのPR活動により、村上産食材の周知が図られた。	地産地消を推進した。料理講習会を開催した。	C	C	C	B	B	D	D	D	O	△	
			3 神林有機資源リサイクルセンター、朝日有機センターの利用促進などにより、適正な家畜糞尿処理及び資源循環型農業を推進します。	農林水産課	適正な家畜糞尿処理及び資源循環型農業の推進が図られた。	有機センターの利用促進を周知した。	C	C	C	C	C	C	C	C	O	O	
2 清潔で安全・安心な生活の中で資源の循環を追求する	1 さわやかで気持ちのいい空気を守る(大気環境の保全)	1 大気汚染の防止	1 事業施設の大気汚染防止を図るため、事業者および関係機関との連携により、ばいじん対策等、施設の監視指導を徹底します。	環境課	特段事例がなく、指導するケースがなかったが、体制は整っている。	特段事例がなく、指導するケースがなかったが、体制は整っている。	C	C	C	C	C	C	C	C	×	×	
			2 現在県で実施されている継続的な大気質調査に基づいて、大気の状態を監視し、光化学スモッグ注意報の発令時等、大気汚染が発生した場合には、速やかに原因を究明するとともに、市民への情報提供を行います。	環境課	発生がなく特段取り組みはなかったが、県からの情報伝達訓練などにより体制が整っている。	発生がなく特段取り組みはなかったが、県からの情報伝達訓練などにより体制が整っている。	A	A	A	A	A	A	A	A	O	O	
			3 大気汚染防止の観点から、道路整備を推進するとともに、自動車排出ガス規制の取り組みについて検討します。	環境課	市内4か所に電気自動車充電スタンドを設置し、次世代自動車への転換を図った。	4か所の電気自動車充電スタンドの稼働。	D	D	D	B	B	B	B	E	×	×	
			4 基準を満たさない小型簡易焼却炉の使用禁止や野焼き等の不法焼却の禁止を周知徹底し、監視や指導を強化します。	環境課	広報で周知し、通報があった時は適切に対応した。	広報で周知し、通報があった時は適切に対応した。	A	A	A	A	A	A	A	A	O	O	
			5 大気汚染防止を目的として、日常生活や事業活動におけるアイドリングストップの励行を推進します。	生涯学習課	庁用車運行時のアイドリングストップに努めた。	庁用車運行時のアイドリングストップの励行。										O	O
			自治振興課	SDGsを意識しながら取組を行うよう努めたことで、排気ガス抑制だけでなく、燃費の向上も図られている。	業務のほか、業務以外でも各自でアイドリングストップを心掛けた。また移動経路の短縮化、積載物の縮小にも努めた。	C	B	B	B	B	B	B	B	O	O		
		環境課	勤務中におけるアイドリングストップの励行し、大気汚染防止の推進を図った。	勤務中におけるアイドリングストップの励行										△	△		
		環境課	6 大気汚染防止の取り組みにより澄んだ空気と見通しの良さを確保し、併せて近隣市とも協力して夜間の照明、特に上向きの照明を極力減らすなどにより、光害の発生を抑制します。	環境課	特段の取り組みはなかった。	特段の取り組みはなかった。	D	D	D	D	D	E	E	E	×	×	
		2 悪臭の発生抑制	1 悪臭防止法に基づき、事業活動により発生する悪臭発生の抑制を図ります。	環境課	臭気測定を行い臭気指数の高い畜舎に対し状況の把握、改善に向けた話し合いを行い改善を図った。	臭気測定を行った。臭気指数の高い畜舎に対し状況の把握、改善に向けた話し合いを行った。	B	B	B	B	B	C	C	C	△	△	
			2 下水道への接続促進や合併処理浄化槽の設置促進により、生活排水等から発生する悪臭の低減を図ります。	環境課	村上市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱に基づき申請を受け付けている。	村上市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱に基づき申請を受け付けている。	A	A	A	A	A	A	A	A	O	O	
3 畜舎から発生する悪臭については、“家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律”に基づき適正に管理が行われるように指導します。	環境課		法令に基づき、届け出の受理等を行った。また、必要に応じて対応した。	一部地区では「近隣住民」「事業者」「行政」の3者で畜舎の状況を確認し、必要に応じて指導を行った。また、畜産事業者へ「臭気対策について」文書を手渡しによる啓発を行った。	B	B	B	B	B	C	C	C	△	△			
2 清らかなおいしい水を守る(水環境の保全)	1 水質汚濁の防止	1 事業施設の水質汚濁防止を図るため、事業者および関係機関との連携により、施設からの排水について監視指導を徹底します。	環境課	水質汚濁の恐れのある事業所において、排水の水質検査を行い、状況を確認した監視を行った。	水質汚濁の恐れのある事業所において、排水の水質検査を行い、状況を確認した。	A	A	A	A	A	A	A	A	O	△		
		2 国・県と協力し、河川等公共用水域の水質検査を継続的に実施し、安全・安心な水質の保全に努めるとともに、水質汚濁が発生した場合には、速やかに原因を究明し、対策を講じます。	環境課	公共用水域等の水質検査を実施した。水質汚濁発生時には関係機関と連携し、対応する体制が構築されている。	公共用水域等の水質検査を実施した。水質汚濁発生時には関係機関と連携し、対応する体制が構築されている。	A	A	A	A	A	A	A	A	O	O		
		3 下水道への接続促進や合併処理浄化槽の設置促進により、生活排水等が原因となる水質汚濁の発生を抑制します。	環境課	村上市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱に基づき申請を受け付け補助を行い水質汚濁の発生を抑制している。	村上市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱に基づき申請を受け付けている。	A	A	A	A	A	A	A	A	O	O		

基本目標	個別目標	施策方針	環境施策	担当課	計画期間全体の評価	令和2年度の取り組み状況	R2評価	過去の評価									
								R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	
2 清潔で安全・安心な生活の中で資源の循環を追求する	2 清らかなおいしい水を守る(水環境の保全)	1 水質汚濁の防止	4 水環境の保全意識の向上と保全活動の促進を図るため、周知と情報提供を推進します。	環境課	水環境の保全意識の向上と保全活動の促進を図るため、清流「荒川」アピール連絡会議の出席や「新潟県の名水」推薦やPR(市役所市民ホールで村上市で開催した名水サミットの模様を動画で流すなど)を通して推進します。	清流「荒川」アピール連絡会議の出席や「新潟県の名水」推薦やPR(市役所市民ホールで村上市で開催した名水サミットの模様を動画で流すなど)を通して推進した。	A	B	B	A	A	D	D	D	△	△	
			2 上下水道の整備及び水源地の保全	1 村上市水道ビジョン等に基づき、水質のレベルアップを図るなど、良質な水の供給に努めます。	上下水道課	水道施設の拡張事業や統合事業を計画的に実施しながら適正な維持管理を行い、良質な水の供給に努めた。	水道施設の維持管理の効率化を図るなど、適正な維持管理に努めた。	B	B	B	B	B	B	B	○	○	
		2 上下水道の水源地に関して開発行為等の状況の変化に留意し、定期的なパトロールや監視を行います。	上下水道課	水源地付近で開発行為や工事等が計画されている場合は適切な指導を行なった。また、水源地の定期的なパトロールや監視を実施し、水質に起因する事故が発生しなかった。	定期的なパトロール等により監視を行っている。	B	B	B	B	B	B	B	B	○	○		
		3 下水道の整備	1 公共下水道未普及区域のある村上地区、荒川地区について、下水道整備を実施し、処理区域の拡大を推進します。	上下水道課	公共下水道の整備を進め、未普及区域の解消に努めた。	村上地区において下水道整備を実施した。(荒川地区は完了)	B	B	A	A	A	A	A	A	○	○	
			2 公共下水道事業完了地区及び集落排水事業完了地区の水洗化を促進します。	上下水道課	個別訪問等の普及活動に取り組み、目標値は達したが、県平均には達していない。	前年度工事完了地区へ、下水道接続依頼の文書を個別に配布した。接続率の低い地区の未接続世帯に対し、戸別訪問による水洗化の普及を推進を実施した	C	C	C	C	C	C	C	C	△	△	
			3 下水道整備予定区域外の地域において、汚水処理対策としての合併処理浄化槽の普及を促進します。	環境課	村上市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱に基づき申請を受け付け、合併処理浄化槽の普及を促進している。	村上市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱に基づき申請を受け付けている。	A	A	A	A	A	A	A	A	○	○	
		3 土壌と地下水の安全を守る	1 土壌汚染の防止	1 既往の土壌汚染地域に対して、モニタリング調査を継続し、その結果を公表するとともに、事業者や地域住民への啓発活動を通じて、新たな土壌汚染の発生を未然に防止します。	環境課		関係機関と連携しながら、水質検査を実施。	C	C	C	C	C	C	D	D	△	×
				2 農業の使用状況を把握するとともに、農業の適正使用について啓発に努めます。	農林水産課	農業の適正使用について周知が図られた。	農業者に対して、農業使用について啓発を実施。	C	C	C	C	C	C	C	D	△	△
			2 地下水汚染の防止	1 事業施設の地下水汚染防止を図るため、事業者および関係機関との連携により、施設からの排水について監視指導を徹底します。	環境課	事業施設の地下水汚染防止を図るため、事業者および関係機関との連携により、施設からの排水について、水質検査を行い監視指導を徹底した。	関係機関と連携しながら、水質検査を実施。	A	A	A	A	A	A	A	A	○	○
	2 県と協力して、定期的な地下水水質調査を実施し、その結果を公表するとともに、地下水汚染が発生した場合には、速やかに原因を究明し、対策を講じます。			環境課	県と協力して、定期的な地下水水質調査を実施し、その結果を公表するとともに、地下水汚染が発生した場合には、速やかに原因を究明し、対策を講じます。	公共用水域等の水質検査を実施し、「環境の状況報告書」により結果を公表した。水質汚濁発生時には関係機関と連携し、対応を図った。	A	A	A	A	A	A	A	A	○	○	
	3 良質な地下水を確保し、地下水位の低下を防ぐため、地下水の涵(かん)養に努めるとともに、井戸の使用状況について把握します。			環境課	未実施	未実施	E	E	E	E	E	E	E	E	△	△	
	4 静かで落ち着いた環境を守る		1 騒音と振動の軽減	1 騒音規制法、振動規制法及び新潟県生活環境の保全に関する条例に基づき、適正に監視、指導を行います。	環境課	法令に基づき、届け出の受理等を行った。また、必要に応じて対応を行った。	法令に基づき、届け出の受理等を行った。また、必要に応じて対応した。	A	A	A	A	A	A	A	A	○	○
		2 現在の市街地や集落の静かで落ち着いた環境を守っていくため、日常生活や事業活動に伴う近隣騒音の発生を未然に防止します。		環境課	住民からの苦情相談窓口を設け、対応した。	住民からの苦情相談窓口を設け、対応した。	B	B	B	B	B	D	D	D	△	△	
		3 日本海東北自動車道を含む幹線道路に対して、定期的な騒音・振動調査を実施し、その結果を公表するとともに、騒音・振動公害が発生した場合には、速やかに原因を究明し、対策を講じます。		環境課	高速道路での騒音測定については、苦情がないため実施していない。	高速道路での騒音測定については、苦情がないため実施していない。	A	A	A	A	A	A	A	A	○	×	
	5 安全・安心な生活を確保する	1 化学物質による環境汚染の防止	1 県と協力し、有害化学物質を使用する事業所における廃棄物の処理状況等の情報収集を行います。	環境課	関係機関等から情報収集を行った。	関係機関等から情報収集を行った。	C	C	C	C	C	C	C	C	△	×	
2 化学物質による環境汚染事故が発生した場合には、県と連携して迅速な対策を講じます。			環境課	環境汚染事故は発生しなかった	環境汚染事故は発生しなかった	A	A	A	A	A	A	A	A	○	○		

基本目標	個別目標	施策方針	環境施策	担当課	計画期間全体の評価	令和2年度の取り組み状況	R2評価	過去の評価									
								R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	
2 清潔で安全・安心な生活の中で資源の循環を追求する	5 安全・安心な生活を確保する	1 化学物質による環境汚染の防止	3 国・県により開示される放射線量及び放射性セシウム沈着量に関して、広報等を通じて伝えるとともに、村上市産農産物の安全性に関して、積極的に公表します。	総務課	平成30年度までの間については、学校・保育園の空間線量をホームページで公表していたが、令和1年の山形県沖地震、令和2年の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各校・各園の線量測定の実施ができなかった。線量測定においては、各施設の線量をきめ細かく把握できたものと評価します。	取り組み出来なかった。	E	A	A	A	A	A	-	-	-	-	
			2 自然災害の防止	1 山地災害の未然防止対策として、積極的な治山事業の導入を図ります。	農林水産課	実施要望に基づき、事業を効果的に実施し山地災害の未然防止対策が図られた。	実施要望に基づき、事業を効果的に実施した。また、地震に伴う危険箇所を把握するために現地調査を実施した。	A	A	A	A	A	A	A	B	O	O
				2 河川の災害危険箇所の把握に努め、河川災害の未然防止となる整備を推進します。	建設課	法妙川、稲耕地沢川、童子川、渡山辺里川、金剛川の整備を行い河川災害の未然防止を図った。滝矢川の河川断面を改修し、流下能力を高めたことにより河川災害の防止を図った。	普通河川滝矢川及び準用河川金剛川の改修を行った。	B	B	C	C	C	D	D	C	X	X
		3 平野部の浸水被害多発区域については、重点的に整備を進め、豪雨時における浸水被害の解消を図ります。	建設課	岩船地区冠水対策事業として流末排水路の整備を実施した。山居前地区の排水路に防草コンクリートを施工し、流下能力を向上させ浸水被害の解消を図った。	山居前地区冠水対策事業として、継続的に排水路の防草コンクリートを施工した。	C	C	C	C	C	D	C	D	△	△		
		4 国・県と協力し、河川における土砂堆積や草木の繁殖による河積の減少を防止します。	建設課	県管理河川について河床掘削、伐木が実施され、河積の減少防止が十分に図られた。	県管理河川の河床掘削、河床整正、伐木が実施された。	A	A	D	C	C	D	D	D	O	O		
	6 ごみの汚れない美しいまちを創造する	1 ごみの不法投棄の撲滅	1 不法投棄巡回パトロールを定期的実施し、防止対策、意識啓発、不法投棄ごみの処分等の方策を検討します。	環境課	「村上市」や「村上市環境パトロール車」の表示を付けた車で不法投棄巡回パトロールを定期的実施し、防止対策、意識啓発、不法投棄ごみの処分等の方策を検討します。	「村上市」や「村上市環境パトロール車」の表示を付けた車でながらパトロールを実施した	B	B	B	B	B	C	C	△	△		
			2 不法投棄箇所に対しては、状況に応じて柵・フェンス等の防止対策を施すとともに、不法投棄の再発防止のため看板等を設置して注意を喚起します。	環境課	例年抑止効果の期待できる数種類看板を作成している。	希望する町内に配布し、設置して頂いている。	A	A	A	A	A	A	A	A	O	O	
			3 不法投棄の現状を広報等により公開し、不法投棄防止に向けた啓発を行います。	環境課	不法投棄の現状を広報等により公開し、不法投棄防止に向けた啓発を行いました。	不法投棄防止を広報で啓発した。	B	B	B	B	B	C	C	△	△		
			4 県等関係機関との連携を密にし、不法投棄物の処分を促進します。	環境課	下越地区廃棄物不法処理防止連絡協議会に参加をし、県等関係機関との連携を密に実施を行いました。	下越地区廃棄物不法処理防止連絡協議会の事業として、不法投棄の看板を作成し、希望区長へ配布した。	A	A	A	A	A	A	A	A	O	X	
			5 不法投棄の温床となっている農道・林道、中山間地の溪床等において、地域住民との協力のもとに草刈等の防止活動を行います。	農林水産課		草刈等の維持管理を徹底したことにより、道路区域内における不法投棄の予防に努めた。	C	C	C	C	C	C	C	C	X	X	
		2 ごみの散乱防止	1 村上市ごみの散乱等防止条例に従い、市民・事業者・行政の連携により、ごみの散乱防止に努めます。	環境課	村上市ごみの散乱等防止条例に従い、市民・事業者・行政の連携により、ごみの散乱防止に努めます。	防止看板の設置、ながらパトロールの実施、市民からの通報により、努めた。	A	A	A	A	A	A	A	A	O	O	
				観光課	市民・事業者・行政が連携した取り組みにより、ごみの散乱を防止することができた。	海水浴場清掃業務委託(瀬波温泉及び周辺観光施設、山北)、市民等との連携による海岸清掃。	A	A	A	A	A	A	A	A	△	△	
			2 空缶・空きびん・ペットボトルからたばこの吸殻に至るまで、屋外で生じたごみは必ず持ち帰り、適正に分別・処理します。	環境課	広報、HP、出前講座の実施により、適正処理を周知します。	広報、HP、出前講座の実施により、適正処理を周知します。	A	A	A	A	A	A	A	A	O	O	
		3 環境美化活動の促進	1 クリーン作戦の実施や、清掃活動を支援するなど、地域住民や民間団体、事業者及び行政との協働による継続的な環境美化活動を促進します。	環境課	ボランティア清掃時のごみ袋の配布、集積されたごみの回収、処理を行った。	ボランティア清掃時のごみ袋の配布、集積されたごみの回収、処理を行った。	A	A	A	A	A	A	A	A	O	O	

基本目標	個別目標	施策方針	環境施策	担当課	計画期間全体の評価	令和2年度の取り組み状況	R2評価	過去の評価												
								R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23				
2 清潔で安全・安心な生活の中で資源の循環を追求する	6 ごみの汚れない美しいまちを創造する	3 環境美化活動の促進	2 雑草・雑木が繁茂する空き地や耕作放棄地に対処するため、空き地所有者による管理を促すとともに、農業生産基盤の整備を推進します。	市民課	雑草・雑木が繁茂する空き地(宅地)について近隣住民から通報があったものは、その都度適正管理を依頼してきたが、管理されない空き地が減少することはなく、全体を通しては達成には困難であった。	空き地(宅地)の草刈り等(除草等)が適切に行われず近隣住民等に迷惑が掛かっている場合においては、村上市空き家等の適正管理に関する条例に基づき、所有者等に適正な管理を行うよう、文書や電話等で対処をお願いした。	C	C	C	C	C	C	C	△	△					
				自治振興課	1 3Rの普及促進	1 循環型社会形成を実現するため、一般廃棄物処理基本計画に基づいて、3R(ごみの発生抑制や再使用、再生利用)を推進します。	3Rの推進が限りある資源を有効活用する取組であるという意識が高揚してきている。	用紙の裏面利用をはじめ、消耗品類の再利用に努めた。	A	A	A	B	B	B	B	○	○			
							財政課	1,500社から提出された入札参加申請時のフラットファイルをすべて再使用するなど積極的に再使用を推進した。	再利用可能な物品についての再使用励行	A	A	A	B	B	B	B	○	○		
							環境課	循環型社会形成を実現するため、一般廃棄物処理基本計画に基づいて、3R(ごみの発生抑制や再使用、再生利用)を推進します。	収集した「資源ごみ」をリサイクル処理し、再資源化を図った。					△	△					
				生涯学習課	2 日常生活や事業所の事業活動により発生する一般廃棄物について、マイバッグ運動やレジ袋対策等による減量化の取り組みと正しい分別により、排出量の減量とリサイクル率の向上を促進します。	一般廃棄物の減量化取組と正しい分別に努めた。	事業活動に伴い発生する廃棄物の分別、再利用の徹底。エコ認定商品の購入。	B	B	B	B	B	D	B	B	○	○			
						財政課	事務室で発生するごみについて、徹底して資源ごみと可燃ごみの分別が行われており、職員の意識も高く保たれている。	事務室で発生するごみの分別徹底									○	○		
	7 資源を大切に作る循環型社会を作る	1 3Rの普及促進	3 広報やホームページ、各種イベント等を通じた3Rの普及を促進します。	2 日常生活や事業所の事業活動により発生する一般廃棄物について、マイバッグ運動やレジ袋対策等による減量化の取り組みと正しい分別により、排出量の減量とリサイクル率の向上を促進します。	環境課	期間の後半は、台風やコロナ禍で環境フェスタを介して普及PR活動はできなかったが、ホームページ及び出前講座にて3RをPRLした。	R2年度はコロナ禍のため環境フェスタを中止し普及PR活動はできなかったが、ホームページ及び出前講座にて3RをPRLした。	B	B	B	B	B	C	C	C	△	△			
					環境課	2 廃棄物の適正処理の促進	1 現在(平成22年度)計画の中のごみ処理場の建設を促進します。	平成27年3月22日竣工。(平成27年3月23日本稼働) 問題もなく、順調に運営されている。	平成27年3月22日竣工。(平成27年3月23日本稼働) 問題もなく、順調に運営されている。	A	A	A	A	A	A	A	A	○	○	
								環境課	ごみの分別や3Rの促進、生ごみ処理機補助金の実施など、計画に基づいて推進している。	ごみの分別や3Rの促進、生ごみ処理機補助金の実施など、計画に基づいて推進している。	A	A	A	A	A	A	A	A	○	○
								環境課	3 災害発生時における災害廃棄物の処理に適切かつ迅速に対応するため、災害廃棄物処理計画を策定し、平常時から関係機関と連携して、被災時における廃棄物処理体制を構築します。	策定に向け、目途がたった。	未策定ではあるが、モデル事業に参加し、策定に向けて取り組んだ。	C	C	C	C	C	E	E	×	×
					生涯学習課	1 文化財の保護	1 文化財保護法及び新潟県文化財保護条例・村上市文化財保護条例に基づき、指定文化財を適正に保護します。	貴重な文化財を市指定化することにより保存を推進するとともに、指定文化財の保存修理に対し補助金を交付し文化財の保存・活用を行った。	2件の民俗芸能を市指定文化財に指定することにより保護を図った。また、市文化財保存事業補助金等により国・県・市指定文化財の保存・活用を支援した。	A	B	A	A	A	A	A	A	○	○	
								生涯学習課	2 本市のランドマークである史跡村上城跡・平林城跡の保存・整備を促進します。	村上城跡・平林城跡ともに整備基本計画にのっとり整備委員会及び文化庁の指導を得て、国庫補助金の交付を受けて整備を継続的に進めた。ただし、補助事業の査定により、年次計画の遅れがみられる。	村上城跡・平林城跡ともに、整備基本計画にのっとり、整備委員会及び文化庁の指導を得て整備を継続的に進めた。	A	A	A	A	A	B	A	A	○
生涯学習課	3 祭事等の伝統行事の継承と観光への活用を支援します。	文化財指定化、映像の記録保存、補助金交付による用具等の整備などの措置を講じている。また、国指定の村上祭については、保存修理委員会を設置し、屋台修理等を推進する体制作りを行った。	新型コロナウイルス感染症対策のため県指定大須戸能新能は中止した。国指定村上祭の屋台行事は上記と同様で中止となったが、村上祭保存修理委員会を設置し、屋台修理等を推進する体制作りを行った。牛屋獅子舞・福田獅子踊りを市指定文化財に指定し保護を図った。	A				A	A	A	A	A	B	B	D	○	○			

基本目標	個別目標	施策方針	環境施策	担当課	計画期間全体の評価	令和2年度の取り組み状況	R2評価	過去の評価								
								R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23
3 歴史と伝統のある地域社会の中で快適な暮らしを創造する	1 歴史と伝統を継承し、新たな文化を創造する	1 文化財の保護	4 埋蔵文化財(遺跡)は、適正に保存もしくは記録保存された後、出土品を適切に保管するとともに、展示による一般公開や講座の開催等を通じて、地域住民の郷土史理解と愛郷心の醸成を図ります。	生涯学習課	郷土資料館や縄文の里・朝日では企画展を開催し、地域住民や観光客に向けて、市内の埋蔵文化財をPRしている。歴史文化館では毎年テーマを変えて市内の遺跡から出土した品々を展示し、職員が解説会を開催し好評を得ている。	市内遺跡から出土した遺物の整理を行うとともに郷土資料館、村上歴史文化館、縄文の里・朝日でそれぞれ企画展を開催した。	B	B	A	A	A	A	B	B	○	○
				生涯学習課	定期的な除草作業を行うとともに、間伐を行うことにより、うっそうとした史跡内外の景観が大幅に改善された。	両城跡において除草作業や倒木処理等を実施し、景観の保全を図った。	B	B	B	B	B	B	B	○	△	
		生涯学習課	2 指定文化財の寺社及び武家住宅等の保存・修理に対する支援を行い、適切な保全を図ります。	若林家住宅では防火対策が徹底され、浄念寺や耕雲寺では修繕に対し支援を行った。しかし、若林家住宅を含めた武家住宅では茅葺屋根の老朽化が著しいが修復は進んでいない。	若林家住宅では落雷により自動火災報知機の基盤が損傷したため、交換工事を行った。	D	D	B	A	A	A	A	A	○	○	
		都市計画課	3 町並みの保全と創造	1 景観形成地区においては、歴史的町並みの風景を維持・継承しながら、良好な住環境の形成に努めます。	都市計画課	景観づくりに十分な予算を費やすことは困難な状況になったが、継続して助成金の交付は行うことができ、歴史的景観の維持、継承に努め、良好な住環境の形成に寄与できた。	市景観条例、市景観形成助成金交付要綱に基づき、市景観計画に定められた重点地区内の交付対象行為に対して助成金を交付した。	B	B	B	B	B	B	B	○	△
					生涯学習課	「村上市歴史的風致維持向上計画」に基づき、歴史的町並みの保全は計画的に進んでいる【都市計画課】。	「村上市歴史的風致維持向上計画」に基づき、歴史的町並みの保全に向けた活動に取り組んだ。	B	B	B	B	B	B	△	△	
		2 快適な暮らしと生活空間を創造する	1 市民が憩える公園や広場の整備	1 都市公園、児童公園、中州公園等を清潔で安全・快適な状態で維持できるよう、適切な管理を行います。	建設課	日常的な維持管理を環境課で実施し、清潔で安全・快適な状態が維持されている。	適切な維持管理を行った。	B	B	C	B	B	B	B	B	○
	生涯学習課				当該公園では、除草作業のほか、外来種の老木の伐採により、適切な環境整備を行っている【都市計画課】。	市民の憩いの場であり市外観光客も多く訪れるまいづる公園、お城山(村上城跡)、要書山(平林城跡)において、指定管理者やそれぞれ地元で除草等の管理を委託した。	C	C	C	B	B	B	B	○	○	
	環境課				委託及び現場確認を適正に行い所管課への連絡・協議では適切に行った。	委託及び現場確認を適正に行い所管課への連絡・協議では適切に行った。	C	C	C	B	B	B	B	○	○	
	都市計画課		2 快適で人にやさしい生活環境の整備	1 公共施設のバリアフリー化を推進します。	都市計画課	新潟県福祉のまちづくり条例に基づき、バリアフリー化を指導・助言を続け、特に公共施設のバリアフリー化に率先して努めた。	新潟県福祉のまちづくり条例に基づき、バリアフリー化を指導・助言をした。	C	C	C	B	B	B	B	○	○
					建設課	2 道路整備にあたっては、歩道上の通行支障物の撤去や移動、路肩の拡幅などを進め、安全・安心で人に優しい歩行空間を確保します。	道路改良にあたり、適正な路肩幅の確保と蓋付の道路側溝を設置することにより、歩行者空間の確保を図った。老朽化した道路側溝の改修を行い安全な歩行者空間を確保した。	道路改良工事4路線、側溝改修工事4路線を実施した。	C	C	C	C	C	D	D	C
	3 身近な緑の確保(緑化の推進)		1 アドプト制度の活用等、地域住民を主体とした身近な公園の管理について検討を行います。	1 建設課	建設課	まちづくり協議会と連携し、道路の美化活動やポケットパークへ落ち葉回収BOXを設置し、地域住民が取り組みやすい環境整備に取り組んだ。	地元が主に使用する公園は地元で管理をお願いし、ポケットパーク等にはゴミ袋を支給や落ち葉回収ボックスを設置している。	C	C	C	B	B	B	B	B	○
		生涯学習課			村上城跡・平林城跡・山元遺跡の国史跡では一部地域住民や保存会と協働で環境整備を行ったが、本格的な実施には至っていない。今後は、行政からの働きかけ(きっかけ作り)により、地域住民が主体となる環境整備の体制作りが必要である。	お城山(村上城跡)において、町内会や地元企業とともに清掃活動を計画したが新型コロナウイルス感染症のため中止となった。	C	C	C	B	B	B	B	B	○	○
観光課		住民と連携した公園の管理を行うことができた。			南大平ダム湖公園、お幕場大池公園、お幕場森林公園における施設維持管理業務委託。	B	B	B	B	B	B	B	C	○	○	
都市計画課	2 花壇やプランターを利用した身近な緑化を推進します。	住民の協力により、緑地整備やプランターの設置など、身近な緑を確保することができた。	各町内会の協力により、公園緑地の整備を行った。	B	B	B	B	B	B	B	C	○	○			

基本目標	個別目標	施策方針	環境施策	担当課	計画期間全体の評価	令和2年度の取り組み状況	R2評価	過去の評価									
								R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	
3 歴史と伝統のある地域社会の中で快適な暮らしを創造する	2 快適な暮らしと生活空間を創造する	3 身近な緑の確保(緑化の推進)	2 花壇やプランターを利用した身近な緑化を推進します。	生涯学習課	所管施設における樹木や草花の維持、除草作業により緑化維持管理を行った。	所管施設における樹木や草花の維持、除草作業により緑化維持管理を行った。	B	B	B	B	B	B	B	C		○	
				観光課	公共施設等における花苗の植栽を行い、緑化を推進することができた。	村上市民ふれあいセンター花壇に花苗の植栽を行った。									△	△	
			都市計画課	3 並木の植栽や壁面緑化、緑のカーテンなど、豊かな自然環境を保全・育成・活用した心地よい生活空間の創出を推進します。	生垣の数は年々減少はしているが、生垣保有者に対するゴミ袋支給により景観資源の維持管理に貢献し、心地よい生活空間の創出を図ることができた。	市景観計画に定められた重点地区である旧武家町地区内の生垣保有者に対して生垣の清掃用としてゴミ袋を支給し、生垣の保持に努めた。	D	D	D	C	D	D	D	D		○	○
4 地域から世界を考え地球環境の保全に取り組む	1 地球温暖化対策を推進する	1 温室効果ガス排出量の削減	1 村上市地球温暖化対策実行計画に基づいて、市全体及び行政の事業により発生する温室効果ガスの排出量削減を推進します。	生涯学習課	温室効果ガスの排出量削減に努めた。	庁用車運転時のアイドリングストップの励行。所管施設での節電。	B	B	B	A	A	A	A	A		○	○
				環境課	4つの再エネ関連補助金や市内4か所の公共施設(みどりの里、穂波の里、荒川支所、イヨボヤ会館)へのEV自動車充電器の設置、公共施設屋根への太陽光パネル設置などで、温室効果ガス排出量削減を推進した。	住宅用太陽光発電システム設置費及び木質バイオマスストーブ設置費に補助金を交付し、市内の温室効果ガス排出量削減を推進した。									○	○	
				自治振興課	2 市街地間の移動に関しては、公共交通機関の優先的な利用を促進するとともに、ノーマイカーデーの実施について検討を行います。	公共交通機関の利用促進に対し、取組を行ってきたが、ノーマイカーデーの実施には公共交通における利便性の確保や利用意識の一層の高揚などといった課題があり、今後も検討が必要である。	通学時の乗合率向上を図るなど、公共交通の利用促進に努めた。また六斎市やイベント等において相乗りを呼び掛けるなどの取組を行った。	D	C	B	D	D	B	B	B		○
			環境課	3 公用車の導入・更新にあたっては、ハイブリッド自動車等の温室効果ガス排出量の少ない車種を選定します。	自動車更新時の低公害車導入を推進し、現在使用中のもので157台、延べ台数で200台の低公害車を導入した。	所管の庁用車を温室効果ガス外量の少ない車に変更した。また、引き続き新規に導入する公用車の低公害車導入を啓発した。	A	A	A	B	B	B	B	B		△	△
			環境課	1 節電やエコドライブなど、日常生活や事業活動の中で身近に実行できる省エネルギー・省資源の事例を紹介し、その取り組みを支援します。	環境フェスタでのブース展示等で省エネルギーに関する情報の紹介に務めた	感染症対策のため環境フェスタを中止したため、事例紹介の機会がなかった。	E	D	A	A	A	A	A	A		○	○
			環境課	2 風力・太陽光発電などの新エネルギーの普及を図るため、国・県・市による支援制度や導入メリットなどの情報提供を行うとともに、公共施設において率先的な導入を図ります。	住宅用太陽光発電システム設置費補助金事業により、市内の再生可能エネルギーの普及を図った。また、岩船沖洋上風力発電の事業検討、屋根貸しによるし尿処理場屋根への太陽光パネルの設置を行った。HP等で再エネについての情報を提供し普及啓発を図った。	市による新エネルギー導入支援制度や住宅用太陽光発電の導入メリットなどをホームページで紹介した。公共施設の屋根貸しによる太陽光発電を継続した。	A	A	A	A	B	B	B	B		△	△
			環境課	3 自然環境への負荷の軽減や省エネルギー・新エネルギーの導入に積極的に取り組んでいる事業所・団体の取り組み事例を広報やホームページを通じて広く紹介します。	環境フェスタで環境保全団体のブースを作り、活動の紹介を行った。また令和2年度は市報を用いて活動の紹介を行った。	感染症対策のため環境フェスタは中止したが、その代替として市内の環境保全団体の活動を市報で紹介した。	B	D	A	A	B	B	B	A		○	○
			財政課	4 環境マネジメントシステム(ISO14001、エコアクション21)の認証を取得した事業者の増加を促進するため、本市内事業者への周知を図ります。	認証取得が一般的となり、業者への周知も必要がない段階に進んでいる	入札参加資格申請に際し、「総合評定値通知書」の提出を求め、その総合評定値を等級格付けの総合評点に加点することとしている。総合評定値の算出においてはISOの取得が加算対象とされており、入札参加業者へのISO取得が促されている。	A	A	A	A	A	A	A	A		○	○
			環境課	5 農業廃棄物(稲わら、もみ殻、畜糞等)や食品残渣等のバイオマスを利用した新エネルギーの導入を推進します。	市内業者によるバイオマスの再資源化の取り組みを支援するために地元住民説明等の補助などを行った。	学校教育で食べ残しなど、給食残渣をバイオマスに利用した再生可能エネルギー(ガス、電気、農業堆肥)再資源化を行った。	A	A	A	A	A	C	E	E		△	△
環境課	6 おがくずや間伐材等を利用したチップボイラーやペレットストーブの導入に関して検討を行います。	木質バイオマスストーブ設置費補助金事業により、バイオマスストーブの普及に努めた。また、市内でバイオマス関連の事業を計画する事業者への支援等を行った。	引き続き「木質バイオマスストーブ設置費補助金」を交付し、一般家庭や事業所等においてペレットストーブや薪ストーブの導入を支援した。	A	A	A	A	A	A	A	A		○	×			

基本目標	個別目標	施策方針	環境施策	担当課	計画期間全体の評価	令和2年度の取り組み状況	R2評価	過去の評価																						
								R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23														
4 地域から世界を考え地球環境の保全に取り組む	1 地球温暖化対策を推進する	2 省エネルギー・新エネルギー対策の推進	7 地域特性を活かした再生可能エネルギーなど、先端的環境技術の導入によるグリーンインベーションの実現を目指します。	環境課	H26から検討を始めた「岩船沖洋上風力発電事業」をはじめ、事業者提案を中心に様々な再生可能エネルギーの導入検討を行った。	国、県の動向に同調し、洋上風力発電の実現に向けて推進した。また、木質バイオマス発電、地熱発電などの事業者提案があったものに対し対応した。村上市地球温暖化対策地域協議会内で地域で事業者が検討している事業の進捗等について報告し	A	A	B	B	C	C	-	-	-	-														
																	3 二酸化炭素吸収源対策の推進	1 森林の持つ二酸化炭素吸収源機能の周知を図るとともに、適正な森林整備を推進します。	農林水産課	森林の持つ二酸化炭素吸収源機能の周知を図るとともに、適正な森林整備を推進することができた。	外郭団体と協力し、講演会や林業教室等を開催、森林多面的機能についての周知を行った。また、二酸化炭素吸収源対策強化のため間伐施策に対する支援を推進した。	B	B	B	B	B	B	B	△	△
			2 カーボンオフセット事業の導入に関して検討を行います。	農林水産課	令和4年度から実施する予定のため、これまでは未実施	未実施	E	E	E	E	E	E	E	E	×	×														
		2 オゾン層の保護と酸性雨対策を推進する	1 オゾン層の保護と酸性雨の防止	環境課	1 オゾンホールや酸性雨発生に関する最新情報を収集・開示することにより、市民の意識啓発に努めます。	県がH22からH26までに行った酸性雨のモニタリング結果等を環境フェスタ等で紹介し、意識啓発に努めた。	地球環境の変化にする情報は収集してきたが、感染症対策のため環境フェスタを中止したため、情報提供の場を設けることができなかった。	D	D	B	B	B	C	E	E	×	×													
																		環境課	2 フロン回収・破壊法、家電リサイクル法、自動車リサイクル法に基づいて、業務用冷凍空調機器、冷蔵庫、エアコン、自動車などの適正処理に関して啓発を行います。	適正に実施している。	適正に実施している。	A	A	A	A	A	A	B	○	×
	環境課																	3 酸性雨の発生防止を目的として、原因物質の排出抑制に関して啓発を行います。	酸性雨の発生防止目的の啓発はしていないが、環境フェスタの中で地球温暖化防止等のPRを実施する準備をしていた。しかしコロナ禍で環境フェスタが中止となってしまった。	酸性雨の発生防止目的の啓発はしていないが、環境フェスタの中で地球温暖化防止等のPRを実施する準備をしていた。しかしコロナ禍で環境フェスタが中止となってしまった。	D	D	C	C	C	D	E	E	×	×
	3 ごみによる海洋汚染防止を推進する	1 海岸漂着ごみ対策の推進	環境課	1 河川及び海岸へのごみの不法投棄を撲滅することにより、本市内からのごみの排出と漂流を防止します。	不法投棄物の処理、ボランティア清掃へごみ袋の配布、ごみの回収を行った。	不法投棄物の処理、ボランティア清掃へごみ袋の配布、ごみの回収を行った。	B	B	B	B	B	B	B	B	B	○	○													
																		観光課	海岸のごみ拾いを開催することにより、ごみの排出と漂流を防止することができた。	新型コロナウイルス感染予防のため、R2年度は1回の開催であったが、市の主催により海岸のごみ拾いを実施した。							△	△		
																		農林水産課	2 国籍不明の海岸漂着物等による危険を回避するため、日本海側他市町村との情報交換や日本海沿岸諸国からの情報収集に努めるとともに、発見時の関係機関への迅速な報告と市民への的確な情報伝達を実施します。	該当案件は発生しなかった	該当案件は発生しなかった	B	B	B	B	B	B	B	B	△
			環境課	関係機関との連携により危険な漂着物への注意喚起を行っている。	関係機関との連携により危険な漂着物への注意喚起を行っている。											○	×													
			環境課	3 国際的な取り組みの一環として、海外の日本海沿岸諸市へ向けた海岸漂着ごみ対策を含めた海洋汚染防止のメッセージを発信します。	市直接のメッセージ発信は行っていないが、引き続き国からの発信がなされている。	市直接のメッセージ発信は行っていないが、引き続き国からの発信がなされている。	D	D	D	D	D	E	E	E	×	×														
5 環境の保全に市民・事業者・行政が一体となって取り組む			1 協働体制の確立	1 主体間における環境情報の共有化	1 行政から、環境に関する積極的な情報公開と、分かりやすい情報提供を行います。	生涯学習課	天然記念物管理者への支援(補助金交付、樹木区による指導・助言)や情報提供を行ったが、一般市民に対する情報公開、情報提供には至っていない。	天然記念物管理者への支援(補助金交付、指導・助言)や情報提供を行った。	B	B	B	B	B	C	C	C	△	△												
	環境課	環境の状況報告書を作成し市ホームページで公開した。				環境の状況報告書を作成し市ホームページで公開した。																	○	×						
	自治振興課	2 地域や市民団体等で既に行われている協働の取り組みや環境保全活動の様子について、積極的に紹介していくなど、市民相互の情報共有や交流につながる取り組みについても推進していきます。			まちづくり協議会では、地域の自然や環境保全に寄与する活動を行っており、その取り組みが地域の自然や環境保護への意識醸成に繋がってきている。	まちづくり協議会の活動における環境保全などの取組を、毎月の機関紙を媒体に情報発信や啓発に努めた。	B	C	B	B	B	C	C	C	△	○														
	環境課	環境フェスタで環境保全団体のブースを作り、活動の紹介を行った。また令和2年度は市報を用いて活動の紹介を行った。			感染症対策のため環境フェスタは中止したが、その代替として市内の環境保全団体の活動を市報で紹介した。																		△	△						

基本目標	個別目標	施策方針	環境施策	担当課	計画期間全体の評価	令和2年度の取り組み状況	R2評価	過去の評価										
								R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23		
5 環境の保全に市民・事業者・行政が一体となって取り組む	1 協働体制の確立	2 主体間の良好なパートナーシップの形成	1 市民、事業者、行政からなる(仮称)村上市環境保全協議会を立ち上げ、環境の保全に関わる主体間の良好なパートナーシップの形成を図ります。	環境課	新たに村上市地球温暖化対策地域協議会を立ち上げ、主体間の意見交換の場を増やした。おらつてにいがた市民エネルギー協議会とパートナーシップ協定を締結した。	環境審議会等を3つの会議の開催した。おらつてにいがたとパートナーシップ協定を結び小学校で学習授業を開いた。	A	A	B	D	D	D	E	E	×	×		
			2 環境の保全に関する取り組みを地域ぐるみで実行できるように、地域コミュニティの強化を図ります。	生涯学習課	村上城跡・平林城跡・山元遺跡の国史跡では一部地域住民や保存会と協働で環境整備を行ったが、本格的な実施には至っていない。今後は、行政からの働きかけ(きっかけ作り)により、地域住民が主体となる環境整備の体制作りが必要である。	お城山(村上城跡)において、町内会や地元企業とともに清掃活動を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。	D	D	E	E	E	D	D	△	△			
			3 環境の保全に関する施策についての市民の意見を積極的に取り入れるため、パブリックコメント制度を活用します。	環境課	基本計画の中間見直しと第2次環境基本計画策定時にパブリックコメントを実施するとともに市民、事業者、中学生に向けたアンケート調査を実施した。	第2次環境基本計画の素案策定後、パブリックコメントを実施し市民より27件の意見を頂き、検討の上計画内へ反映した。	A	A	B	B	B	A	E	E	×	×		
	2 環境教育・環境学習の実施	1 環境教育・環境学習の積極的な推進	1 学校教育においては、「郷育のまち・村上」を通じて地域の自然環境及び生活環境への関心を深め、環境教育を積極的に推進します。	学校教育課	オープンセッションにおける関係団体との情報交換が環境教育を推進するためのネットワークの構築、内容の充実につながっている。(R2,R3は未実施)	オープンセッション行わなかったため、各校には公民館を活用している団体の事業や出前講座等の紙面による情報提供を行った。	D	D	D	D	D	D	D	△	△			
				生涯学習課	公民館事業として団体に協力を求める環境学習の推進に努めた。	長期休暇体験教室に環境学習を取り入れる計画をした。	C	C	C	A	A	D	B	A	○	○		
				環境課	環境問題に関心を持ってもらうため、依頼に基づいて施設見学等を実施した。	ごみ処理場やし尿処理施設の見学を実施した。	C	C	C	C	C	D	E	E	×	×		
				生涯学習課	環境や自然愛好会団体等が実施する事業の開催支援に努めた。	実施なし	C	C	C	C	C	C	C	C	○	○		
					環境課	保育園のグリーンカーテンの推進に参加し、活動を支援した。	保育園のグリーンカーテンの推進に参加し、活動を支援した。	C	C	C	C	C	C	C	△	△		
				学校教育課	5 総合学習等で川や里山の生きもの調べやビオトープづくりなど、自然体験による環境教育を推進します。	地域人材との連携により自然環境を生かした教育活動が一定の水準を維持しながら継続して実施されている。	専門家やボランティアの支援、地域住民との連携のもと、河川や里山、校内のビオトープを生かした学習等、各校の教育計画に基づいた環境教育が実施されている。	C	C	C	C	D	D	D	D	△	△	
						生涯学習課	縄文の里・朝日の縄文広場の来館者へ自然体験の場(ビオトープ等)を提供した。	縄文の里・朝日の縄文広場の来館者へ自然体験の場(ビオトープ等)を提供した。	C	C	C	C	C	C	C	○	○	
				2 環境問題に対する意識啓発の推進	1 地域における環境保全活動のリーダーや環境保全に関わる市民団体の育成を図ります。	自治振興課	まち協や環境に関する取り組みを行う団体等との関係性の強化、NPO法人の運営監督を行うことにより、地域の環境保全団体の育成に努めている。	これまでの活動の中から自然発生してきた団体やリーダーとの関係性を強化してきたほか権限移譲により環境保全活動に取り組むNPO法人の運営の監督に努めた。	C	C	B	B	C	D	D	D	△	○
							環境課	市内環境保全団体に村上環境フェスタへの参加協力をお願いすることで、団体の育成と団体の活動を市民に紹介する場を作った。	環境育成の場の一つとして環境フェスタを活用していたが、R2年度は感染症対策のため開催を断念した。	C	C	B	B	C	D	D	D	△
						生涯学習課	環境保全に対する市民の意識高揚に努めたが講習会の開催は実施できなかった。	特になし	E	E	E	A	A	D	B	E	△	○
	環境課	環境フェスタや出前講座を通して、市民への環境に対する啓発活動を進めた。	環境フェスタへの開催に向けて準備を行ったが、感染症対策のため開催を断念した。			D	D	A	A	A	A	A	A	○	△			

基本目標	個別目標	施策方針	環境施策	担当課	計画期間全体の評価	令和2年度の取り組み状況	R2評価	過去の評価												
								R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23				
5 環境の保全に 市民・事業者・ 行政が一体と なって取り組 む	2 環境教育・環 境学習の実施	2 環境問題に 対する意識 啓発の推進	4 村上市の自然環境に関する解説書を作成します。	環境課	環境基礎調査の結果を第2次環境基本計画内に反映させた。	基礎調査書の内容をまとめ、第2次環境基本計画の現状と課題として記載した	B	B	D	C	B	E	E	E	×	×				
			5 村上市の環境の現状と課題について、広報やホームページを通じて情報を公開します。	環境課	環境の状況報告書を作成し公表した。	環境の状況報告書を作成し公表した。	A	A	A	A	A	A	A	A	○	×				
		3 食育と地産 地消の推進	1 学校・保育園の給食における地場産農林水産物の使用、各種団体等による農業体験や地場産農産物を使った料理教室の開催など、家庭・学校・地域が一体となり、地元の新鮮で安全安心な農林水産物を利用した食生活や健康づくりを推進します。	学校教育課	家庭・学校・地域が一体となり、地元の農林水産物を利用した食生活や健康づくりを継続して推進している。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、料理教室等は実施していないが、各調理場栄養教諭等に市内産農水産物の使用を高めるよう協力を依頼している。	C	A	B	A	A	A	A	A	○	○	△	△		
				農林水産課	漁協岩船振興対策協議会の伝統事業であり継続実施していく	少年・少女水産教室(漁協岩船振興対策協議会事業)として岩船中で魚料理実習。													○	○
				生涯学習課	縄文の里・朝日の食堂での地元食材の使用及び売店で地場産物を販売した。また、地元食材を使った食体験教室も参加者から好評である。	縄文の里・朝日の食堂で地元食材を使用するとともに売店で地場産物を販売した。地元食材を使った食体験教室(笹団子づくり、そば打ち、トナもちづくり、こんにやくづくり等)を計画したが、新型コロナウイルス感染症対策により中止した。													○	○
		2 村上市地産地消推進計画に基づき、安全・安心な農産物の提供と地産地消を実現するため、環境に配慮した農業を実践している生産者との連携を強化します。	学校教育課	安全・安心な農産物の提供と地産地消を実現するため、継続して環境に配慮した農業を実践している生産者との連携を深めている。	生活科の授業で、学校の畑の野菜作りにJAの方に御指導いただいたり、漁港で、地引網体験や稚魚の放流をしたり、漁港でとれた農水産物を岩船地区や神林地区に提供したりして調理場・学校現場と生産現場との連携を深めている。	D	D	D	B	C	B	B	D	△	△					
			農林水産課	エコファーマー認定者は減少傾向である。新潟県減農薬・減化学肥料認証制度取得者、環境保全型農業直接支援交付金事業実施については、昨年とほぼ同水準である。	エコファーマーや新潟県減農薬・減化学肥料認証制度取得の支援、環境保全型農業直接支援交付金事業の周知。											△	△			
		3 地元産農林水産物の市内消費の拡大と安定供給が可能となる消費・生産システムを構築します。	農林水産課	市産材補助として制度の普及を行い、市産材の利用促進と林業の活性化が図られた。	「村上市産材利用住宅等建築奨励事業」と県の「越後のふるさと家づくり事業」との補助金の併用を可能にしたことにより、市産材及び新潟県産材の利用促進が図られた。	A	A	A	A	A	A	C	D	○	○					
		4 農林漁業体験及び生業(なりわい)体験、グリーンツーリズムを通じて、都市と農村との交流を推進するとともに、地元産食材への関心を高めていきます。	農林水産課	農林漁業体験及び生業(なりわい)体験等を通じて地元産食材への関心を高めることができた。	コロナ禍により事業実施が困難だった。	E	A	A	A	A	A	A	A	○	○					
			生涯学習課	縄文の里・朝日の食堂での地元食材の使用及び売店で地場産物を販売した。また、地元食材を使った食体験教室も参加者から好評である。	縄文の里・朝日での地元食材を用いた食体験教室は、新型コロナウイルス感染症対策により中止した。											○	○			
		5 農商工連携により、本市固有の豊かな地域資源を活用したコミュニティビジネスの起業と振興を図ります。	地域経済振興課		補助制度により創業や新たな取り組みに対して支援を行った	A	A	C	C	C	B	D	D	△	△					
		6 地元産材を利用した遊歩道・散策路の整備、住宅・家具・調度品等の生産を推進します。	農林水産課	市産材補助として制度の普及を行い、市産材の利用促進と林業の活性化が図られた。	村上市産材利用住宅等建築奨励事業により、住宅等での市産材購入経費に対して支援することにより、市産材の利用促進が図られた。	C	C	C	B	A	B	B	A	○	△					
		7 村上市観光振興計画に基づき、グリーンツーリズムやエコツーリズムの取り組みを推進します。	観光課	首都圏でイベントを行うことにより、取り組みを推進することができた。	新型コロナの影響により、取り組みを実施することが出来なかった。	D	C	C	C	C	C	C	D	△	△					
		3 計画の進捗管理 体制の整備	1 進捗管理計画	1 本計画中の各施策・事業ごとに工程表を作成し、進捗管理計画を策定します。	環境課	工程表や進捗管理計画の作成は行わなかった。	未実施。	E	E	E	E	E	E	E	×	×				
				2 本計画の進捗状況等を年次報告書としてとりまとめ、その情報を公開します。	環境課	毎年度進捗状況報告書を作成し、情報公開を行った。	平成24年度から実施している。	A	A	A	A	A	A	A	○	—				
2 計画進捗管理委員会の設立	環境課		平成24年度から環境基本計画進捗管理委員会を立ち上げ、本計画の確実な推進を図ります。	平成24年度から組織を立ち上げ実施している。	A	A	A	A	A	A	A	A	○	—						